

はと 鳩の峯

No.52
2019
7.1

令和元年7月1日



主な内容

振興会総会	2P
春の窓元めぐり	2P
高浜ぶどう	2P
一斉清掃	2P
連載	3P
春季例大祭	3P
球技大会	3P
東京高浜会	3P
高浜駐在所から	4P
自己紹介	4P
うちの家族	4P

爽やかな 春季例大祭

4月7日(日)、恒例の高浜八幡宮春季例大祭が行われました。

当日は、少し汗ばむほどの陽気の下、八幡様～八坂(祇園)様～稻荷様～諏訪様～八幡様と祭囃子の音色とともに巡回しました。

春色の爽やかな風の中、太鼓踊り・獅子舞の踊りに道中や各迫社で出迎える住民の方々の笑顔が、そのまま春を思わせる清々しい春祭りでした。

振興会総会

一年があつという間に過ぎ、総会を迎えた。昨年は運動会が高浜フェスタになり、楽しみにしていた行事も台風で出来なかつたのは残念であります。高浜ぶどう栽培も増え、収穫量も280kとなりました。販売もさることながら、テレビ等マスコミにも周知してもらい、高浜ワインの認知度も県内には少しづつ広がりつつあるあるのではと思います。しかし、まだまだ



田中会長

今年は、平成から令和への御代替わりにともない、4月27日から5月6日までの10日間の長丁場の開催でした。



夏 副会長

採算が取れるまでには時間がかかります。私たち振興会だけでは困難です。地域の皆様方の温かいご支援を頂きながら、一丸となつて大きくしていこうと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

天候も大きく崩れることもなく、特に後半は晴天に恵まれ、地元や町外からのお客様も数多く来場されました。早朝より夕方近くまでその賑わいを見せていました。窯元の皆さんは10日間、大変お疲れ様でした。



陶器まつり



松下地区



ブドウの手入れ作業中・山田さん

高浜ぶどう

春季例大祭

夏の不知火と三枝良古

みなさんは不知火を見たことがありますか。有明海や八代海で夏の旧暦8月1日頃、大潮の深夜にみられる蜃気楼です。漁火が横に広がって揺れるそうです。200年前の高浜では、7月29日の夜、上津浦の老岳に不知火を見に登るとあります。また庄屋上田宜珍の日記には、1818年7月28日三枝良古が、不知火見物のために本戸へ向かつたとあります。三枝は信濃の社家、宜珍と同じく、和歌・国学を学ぶ本居大平の弟子でした。薩摩へ行く途中に高浜へ立ち寄った三枝は、珍しい不知火の話を聞いて見物しようと思ったのではないでしょうか。実は三枝の足跡は、現在の高浜に残っています。高浜八幡神社の向かって左にある屋根付きの石碑をご存じでしょうか。これは1814年の大火で焼失した八幡神社の復興記念碑です。この文章を書いたのが三枝、碑文の最後に「信濃國三枝良古」と、今でも確認できます。上田家の祖は信濃から来ており縁を感じます。



猿田彦(鼻高面)さん



“長生きするばい”



ナイスショット!!



表彰された白木地区の皆さん

高浜地区球技大会

6月16日(日)、球技大会(グラウンドゴルフ)が開催されました。好天の下、参加者の皆さん、和やかながらそのプレーは真剣で最後まで楽しく過ごされていました。



くまモンとの記念撮影

50周年を迎える

当団体は、100名近い会員の皆様が参加され、地元高浜から出向いた6名の四十雀の余興や、特別出演の「くまモン」も登場し、会場は大変賑わいました。

今回、50周年を迎えた東京高浜会(町村会長)が、6月17日に盛大に開催されました。

遠くのふるさと 東京高浜会

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

香典返し

松原 幸高様
(故・松原 フジ子様)中向



高浜地区

(令和元年5月31日現在)

人口 1,107人
男 507人
女 600人
世帯数 594戸

高齢化率(65歳以上)
593人(53.6%)

高浜駐在所から



石田俊輔所長夫妻

回連絡を通じ、各種犯罪の抑止や交通安全の未然防止に努めて参ります。

また、県内においてオレオレ詐欺等の高齢者を対象とした特殊詐欺が発生しておりますので、身に覚えの無い書簡や不審な電話があつた際は、気軽に相談して頂けたらと思います。

最後になりましたが、皆さんを安心して暮らせるよう一生懸命頑張っていきますので、これからもよろしくお願ひ致します。

自己紹介

僕の仕事は家族を「癒す」ことです。名前は「ポン」といいます。
(ダックス犬・1才オオス)

来寺の際はよろしくね。
(隣峰寺 葛籠貫家)

うちの家族



内野 美恵子さん



田口 秀樹さん